

# 速報!!



## 【第7回】たかまつ国際古楽祭

2024 9.27[金] 28[土] 29[日] 高松市美術館 | 讃岐おもちゃ美術館 | 直島ホール | 男木島 ほか

### 古楽祭ガラ・コンサート

9.28[土] 17:30 開演 (17:10 開場) 高松市美術館 エントランスホール

「高松の皆さま、ルイ 14 世です。この秋、高松市美術館をヴェルサイユ宮殿にします」

パリでは間もなくオリンピックが開催されますが、フランス人が持つあの独特のエleganceと文化の格式高さの源流はどこからやってきたのでしょうか？

ルネサンス期から初期バロックにかけて、音楽の中心地はイタリアでしたが、17 世紀にはフランスへと移りました。その立役者は、「太陽王」として知られるルイ 14 世です。彼の庇護のもとで、フランスは音楽の中心地となり、リュリヤクーブランといった偉大な音楽家たちが活躍しました。

今回のガラ・コンサートでは、ヴェルサイユ宮殿などで演奏されたフランスのバロック音楽を、パリからやってきた超一流の音楽家たちと演奏、それに合わせて舞踏も実演され、視覚と聴覚が融合する豊かな芸術体験をお届けします。

9 月 28 日、芸術を「見る」場所である高松市美術館で、音楽を「見る」という特別な体験、どうぞご期待ください。



たかまつ国際古楽祭芸術監督 柴田 俊幸

#### ■ 出演 ■

ジローヌ・ゴーパール (ヴァイオリン)  
エリザベート・ジョワイエ (チェンバロ)  
瀧井レオナルド (テオルボ)  
長谷川太郎 (バロックファゴット)  
折原麻美 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)  
森川麻子 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)  
松本更紗 (バロック舞踏)  
橋本晋哉 (セルパン)  
佐藤采香 (セルパン)  
柴田俊幸 (フラウト・トラヴェルソ、リコーダー) ほか



#### ■ プログラム ■

F. クーブラン：  
組曲集「諸国の人々」(1726)より 第1組曲「フランス人」(抜粋)  
ラモー：  
「コンセール形式によるクラヴサン曲集」(1741)より  
コンセール第5番 ニ短調  
ルクレール：  
「音楽の慰め 第2集」op.8 (1737)より (舞踏付き)  
F. クーブラン：  
「王宮のコンセール集」(1722)より 第4番 ホ短調  
リュリ：  
歌劇「アルミード」(1686)より パッサカリア (舞踏付き) ほか

※ 出演者・曲目は予告なく変更になることがあります

7/11[木] 前売発売 !!

先行予約ほか詳細は HP、Facebook にて発表

前売一般 | 4,000 円 (当日 4,500 円)  
高校生以下 | 2,000 円

他公演  
近日発表



主催・お問合せ：たかまつ国際古楽祭実行委員会 080-5665-7050 (平日 10:00~17:00)

令和6年度 高松市美術館エントランスホール活用事業(公募) ※美術館ではチケットの販売・お問合せへの対応を行いません